

KSKQ

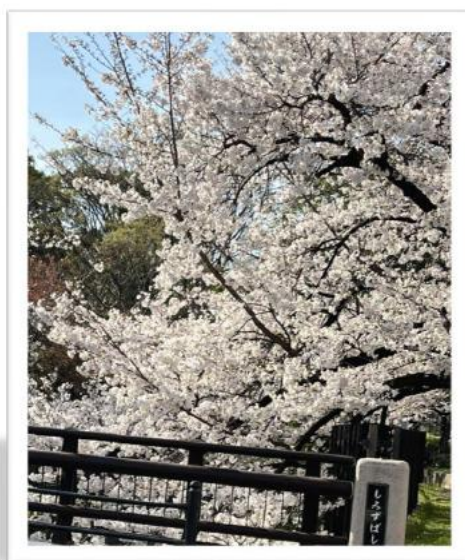
エヌピーオー

# NPOちゅうぶ

つうしん

# 通信

ねん がつごう  
2026年3月号



今川の桜並木も  
もうすぐ...



By.Ayu

トランプ政権下の障害者を取り巻く現実
いろいろな縁石を調査しました
無人駅インターホン問題で講演
青木良さん 自立生活プログラム
BCP防災一泊報告 ～阿部さんと語ろう
ハンセン病問題講演会 家族の今 思い
学校交流 平野北中学校

僕とモリシとヒロシと、僕の中の尾上
木戸通雄の部屋
正職員・ヘルパー スタッフ募集中
いっちゃんはよくこける(チラシ)
協力会費 カンパ
編集後記

# トランプ政権下の障害者を取り巻く現実

## 1A ペタシさん講演

DPI日本会議の研修として、NPOちゅうぶの職員会議で「アメリカから見えるトランプ政権下の障害者を取り巻く現実」と題した講演を聞きました。とても衝撃的な内容で、対岸の火事ではすまされない問題ですので、概要を報告します。(堀)



(以下 講演の概要)

### National ADAPTとは何か

私は、シカゴアダプトの代表を2019年から、イリノイ州立自立生活連絡協議会の副代表、それと、自分が立ち上げた介護派遣の団体の取り組みをしています。

ナショナル・アダプトというのは、障害者の権利とコミュニティで暮らす自立と自由を守るための全米の草の根団体です。デモや選挙、座り込みなどの非暴力・直接行動で制度差別に対して立ち向かってきました。

### バスに乗る権利があるんだ！！

その始まりは、1978年です。19名の障害者が脱施設で地域に出てきたわけですが、車社会のアメリカではバスに乗れないとどこにもいけない。自分達にはバスに乗る権利があるんだと叫びながら、バスの下敷きになって寝ころぶ、車椅子をバスの前の真ん中に置いて動かないなどの闘いを展開し、ADA(アメリカ障害者法)ができる前に制度を整える最初の動きをしました。



こういう取り組みをずっと続けて行って、ADAにつながります。アダプトは、身体を張って全米で抗議活動を展開してきました。



有名な9歳の女の子が階段を這いつくばって上がる様子、こんな小さな子がADAを通すんだと訴えた姿が大きな力になったのですが、この人たちはみんなアダプトの人たちです。

CILの運動はどちらかというとアダプトとは全く異なる知的な運動です。地域で議員さんに粘り強く訴えるという活動などをしてきました。

そして、大きな流れをまとめる力を持つジャスティン・ダートさんのような人が国の議会に直接訴える役割を担う。この3つが大きくかみ合って、ADAが通ったわけです。

### 100回以上逮捕されたアニータさん

ADA以降は、施設からの解放、地域生活をするための保障、自由に生きられる社会を自指して体を張り続けています。



私も6回以上逮捕されました。写真のアニータさんは御年80歳、有名な黒人活動家で100回以上逮捕されています。彼女の言葉を忘れません。「なぜ私たちがそこにいるのか。あなたは悔しい思いをした。障害のない友人たちは正面からレストランに入れるのに、あなたは車いすという理由で、裏路地から、そして厨房を通して入らなければならなかった。あなたは苛立ちを感じた。市議会の会議で何が話されているのか全く分からなかった。なぜなら、手話通訳が用意されていなかったからだ。あなたは怒りを覚えた。自分の自閉症のチックが原因で、警察に逮捕されたとき。そして、他の人たちがどれほどひどい扱いを受けているかを知ること、その怒りはさらに強くなる。あなたの友人の家族は、友人のパーソナル・アテンダントを見つけることができず、友人は家に居続けることができずに施設で亡くなった。最後に面会に行ったとき、ロビーは良い匂いがしたが、奥に入ると、尿と排泄物のおいが充満し、かすかな消毒剤の匂いがそれをさらに際立たせていた。何万人もの人がこのような環境で暮らし、そしてそこで亡くなっている。あなたがそこにいる理由は、彼らのため。自分自身のため。あなたのコミュニティのため。私たちの命には価値があり、私たちは正義を求めるからだ。」

## トランプの1つの大きく美しい法案 障害者低所得者支援の停止・削減

トランプ政権下の障害者にとって問題となる法案ですが、OBBA(One Big Beautiful Bill Act(1つの大きく美しい法案))という意味で、メディケイド、フードスタンプ、障害者年金、セクション8(住宅支援)、生活保護費など、障害者や低所得者の生活を支えている支援の大きな削減を含んでいます。

アメリカの生活保護費は1か月4~5万円ぐらい、セクション8という住宅支援は家賃を3割で済む

ように支援する施策、障害者年金も4~5万ぐらい、あと、フードスタンプが3万円分ぐらい、食事の材料が購入できる。ただし、お酒とか調理済みのサンドウィッチなんかは買えません。それにメディケイドで0~1割負担で医療を受けられる。これで、だいたい暮らせるようになっていました。

## 障害者支援制度の新規受付・更新停止

2025年に法案が通ったので、2026年から新規の制度申し込みが停止されました。新規利用の待機者は71万人以上います。親から自立したい人、施設から出たい人が何年も待機待ちしています。待機者の73%は知的発達障害の人です。

トランプは知的障害者に対して何度も「生産性の低い人」と発言しています。生産性の低い人のために、なんで俺たちの金が使われるんだという発想だと思えます。お金持ちの税金を軽減するために、障害者が生きるために不可欠な経費を削減する「美しい法律」は優生思想そのものだと感じます。また、制度適用中の人も、更新停止になるので、2026年~2028年の間で、使えない人がどんどん出てくる状況です。施設から出ることができないし、地域で生きてきた人も施設に戻るしかない状況です。

法律は通ったけど、詳細や予算はまだ決まってない部分があるので、少しでもダメージを軽減できるように交渉をしています。これは、シカゴアダプトの闘いです。議会に乗り込んで、カットは障害者の人生と自由に対する妨害だと訴えるわけです。逮捕されて追い出されそうになっている場面です。



ヘルパー派遣制度、教育、就労にも影響が低所得の障害者だけでなく、もっと、影響は広範囲です。

私が使っている介護派遣制度もメディケイドの予定をつかっていますので、介助者予算をカットされて使うことができなくなります。

また、特別支援教育とか、通常学級でみんなと一緒に教育を受けるための介助者の予算もメディケイドです。地域移行経費、学校教育、大学への助成、それらもメディケイド関連が結構ありますので、そこが奪われると、教育を受ける権利、就労の権利、地域参加の権利が制限されます。今の状況はまさに地域で生きる障害者にとっては、戦闘モードにならざるを得ません。



## IDEA法(障害をもつ子どもの教育法)、メディケイド削減による教育支援の危機

IDEA法は、知的・発達障害児の早期医療・早期療育、特別支援に関するもので、3歳~18歳の間、無償で提供されます。例えば、普通教育の中で、手話や点字を学んだり、介助とか、学ぶときについていけるように支援したり、同じ教室に個々のニーズに合わせて教えたり、それがすべてメディケイドの予算で行われています。理学療法士、作業療法士、精神療法士、コミュニケーション用のiPadなども全部無料でした。予算が削減されることで、これらを保護者が負担しないといけなくなります。インクルーシブ教育ができなくなっていくのではないかと、人権に大きく関わると感じています。

## Affordable Care Act (医療保険制度改革/オバマケア)の予算削減 2026年障害者が次々亡くなるのではないかと

オバマケアは、何百万人の医療保険へのアクセスを広げた重要な法律ですが、トランプによる大幅な予算削減によって深刻な危機に直面しています。

働いて収入があるとメディケイドには入れない。しかし、既往歴があると健康保険に入れれないという問題がありました。オバマケアでは、メディケイドの枠を広げて、メディケイドに残れるようにしたり、既往歴があっても健康保険に入れるようにしたり、いろんな改革が行われました。

また、会社の健康保険でカバーできない特別治療などへの援助の仕組みなどもオバマケアにはありました。

オバマケアがないと、障害者が必要な医療ケアが受けられなくなります。トランプ政権下で大きく揺らぎ、崩れてきています。

保険に入れれない。病院に行けない。だから、死ぬしかないという人がたくさん出てくるというのが目に見えています。2026年は障害者が次々に亡くなるだろうと思います。

## 政府機関・行政機関の予算と人員の削減

トランプが突然、明白から政府機関の予算を大幅にカットしますみたいなSNS発信をして、私が働いているテキサス州オースティン市へも人事部へすぐに人員と予算のカットの指令がきました。

障害者支援の仕事は、長年の経験や知識や人との繋がりによって、円滑に行われるものなのに、ブツと切られている。そのサービスの窓口の人が居なくなるということは、サービスを受けに来た人の対応が遅れを取るわけです。

親元や施設から地域移行したい人が71万人いて、3年待ち、5年待ちの待機をしているのに、政府機関の窓口の人も、予算もカットされたら、もっとも待たされて、権利侵害や虐待など人々の命に関わることもあるわけです。

## シイエール ひえいりだんたい よさん さくげん CILや非営利団体の予算の削減

2025年度から、全国のCILや障害者の生活を支える非営利活動のための予算がほぼゼロにされて、多くの団体がサービスを行うための資金集めがメインの仕事になっている現実があります。

私は、自立生活連絡協議会というCILが円滑に適正にサービスをおこなっているか知事に報告をするボランティアみたいなこともしているのですが、多くのCILが必要なサービスの提供ができなくて、このままだと閉めるしかないというのを目のあたりにしています。国が出さないなら、州で支援してくれと働きかけています。

本当にいろんなところから削ぎ取られて、毎日、新しい事件が起きていて、2025年は闘い続けた1年だったと思います。



かいじょしゃ わり いみんろうどうしゃ きやうせいそうかん こわ  
介助者の9割は移民労働者！強制送還が怖くて介助のために外出できない

アメリカでは、介助者を支える多くの労働者が移民で成り立っています。シカゴでは介助者の93%が移民労働者です。介助者の賃金は1時間2000円で最低賃金ギリギリの底辺です。

トランプは、ヒスパニック系とかアジアの人など、逮捕しまくっています。正式ルートで入国して、正規のアメリカで働く権利がある人もお構いなく、アメリカで生まれてなかったら、移民やんという感じで、武装された警官に突然逮捕されて強制送還されている。道を歩いているだけで逮捕される状態なので、介助にも行けない。介助者不足で施設に入らないといけないう状態も起きています。移民って、すぐ隣にいる人で、学校の友達のお母さんが連れ去られていくという光景を見ると、

ひとびと ほんとう いか かん  
人々は本当に怒りを感じています。

はんぱつ  
反発するシカゴにはトランプは軍隊を送ってきました。抗議デモをする人たちにタックルをして、当たれば骨折するぐらい威力があるゴム鉄砲を向けてきます。



ひと とも た あが  
たくさんの人と共に立ち上る  
これから頑張ろう！！

いみんもんたい しやうがいしゃもんたい  
メディケイドや移民問題など、障害者問題だけでなく、低所得者、黒人、ヒスパニック系コミュニティ、移民、難民、高齢者、障害者、LGBTQ、シングルマザー、慢性疾患がある人々など、様々なマイノリティ団体に訴えることによって、大きな運動にしていこうとしています。

だいてうりやう ぶまん たか どくさいせいじ  
トランプ大統領への不満が高まって、独裁政治みたいなキングはいらない、ノーキング！！ 憎しみはアメリカを素晴らしいものにしない！！と訴えています。障害者だけでは何もできないけど、たくさんの人とつながることがパワーになっています。だいてうりやう か さんどう せいじか お  
大統領は替えられないけど、賛同する政治家は追い出すことはできると、人々は次々に立ち上っています。



# えんせき ちょうさ いろいろな縁石を調査しました！

おおさかしほどう しゃどう だんさ かん けんとうかい  
～～～大阪市歩道と車道の段差に関する検討会～～～

## けいか これまでの経過

ちゅうぶでは、歩道と車道の段差の問題について取り組んできました。歩道の段差は、国土交通省の基準により標準2cmと決まっています。これは、車いすでも支障の少ない段差で、視覚障害者が認識できる段差という考え方です。しかし、工事の状況によっては、2.5 cm以上～4 cm近くの段差も多く車いす利用者にとっては危険な状況が続いています。視覚障害者、車いす利用者の双方にとって利用しやすい段差(縁石の形状)を検討できる場を設定するように強く求め、検討会の仕組みが実現しました。そして、去年9月から5回に渡って、検討会のメンバーが集まり、いろいろな形状の歩車道実地体験会を開催しました。今回は、実地体験会で、どんな意見が出されたのか抜粋して紹介します。2月6日(金)には、今年度最後の意見交換会も開催されました。そこで、大阪市の担当者は「大阪市交通バリアフリー基本構想の議論は来年度で終了するが、歩車道の問題は継続して協議していきたい。」と言ってくれました。

プレキャストL型街渠(エプロン一体2cm段差)



ライン導水付き2cm段差



ライン導水付き凹型スロープ



ねん がつ にち もりぐちしじちたいけんかい  
2025年9月30日 守口市実地体験会

おも いけん  
○主な意見

- あし ほしやどうきょうかいが の にんしき どうすいつ  
・足が歩車道境界部に乗れば認識できる(ライン導水付き2cm 白杖利用者)
- だんさ ひく こうつうしま かん える  
・段差が低く交通島のように感じた(プレキャストL型街渠 白杖使用者)
- ぜんりん ていし の あ ちから ひつよう つうじょう  
・前輪を停止させると乗り上げに力が必要で通常  
そくど つよ ひ かん どうすいつ  
速度でも強い引っかかりを感じる(ライン導水付き 2cm 車いす利用者)

1cm段差×現場打エプロン



1cm段差×エプロンなし



ねん がつ にち きょうとしじちたいけんかい  
2025年10月28日 京都市実地体験会

おも いけん  
○主な意見

- あしうら こうていさ にんしき ていど  
・足裏で高低差を認識して、やっとわかる程度である(1cm段差×現場打ちエプロン 白杖利用者)
- からだ ふたん すく だんさ かん せんち  
・身体への負担が少なく段差を感じない(1cm段差×エプロンなし 車いす利用者)

平滑スロープ×現場打エプロン



平滑スロープ×エプロンなし



凹型スロープ×現場打エプロン



2025年11月5日 神戸市実地体験会

○主な意見

- ・スロープで認識できたが、エプロンがないため降りた感じがしなかった(平滑スロープ×エプロンなし 白杖利用者)
- ・エプロンがないので歩車道境界のアスファルトの沈下によって段差が生まれることが心配(平滑スロープ×エプロンなし 車いす利用者)

傾斜段差×現場打エプロン



凹型スロープ×プレキャストエプロン一体型



凹型スロープ×現場打エプロン



2025年11月27日 明石市実地体験会

○主な意見

- ・足裏で認識できた(傾斜段差×現場打ちエプロン 白杖利用者)
- ・足裏でも白杖でも認識できなかった(凹型スロープ プレキャストエプロン一体型 白杖利用者)
- ・音響信号と点字ブロックがあれば許容できる(凹型スロープ×現場打ちエプロン 白杖利用者)
- ・スムーズで問題ない(凹型スロープ プレキャストエプロン一体型 車いす利用者)

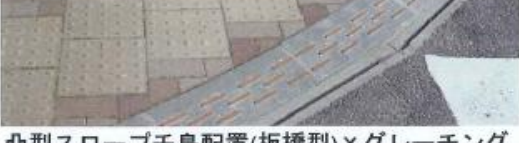
凸型スロープ整列配置(神奈川型)×エプロンなし



凸型スロープ千鳥配置(板橋型)×現場打エプロン



凸型スロープ千鳥配置(板橋型)×エプロンなし



凸型スロープ千鳥配置(板橋型)×グレーチング



2025年12月22日 向日市実地体験会

○主な意見

- ・足裏では認識できたが、白杖では認識できない。警告ブロックと混同する(凸型スロープ整列配置(神奈川型)×エプロンなし 白杖利用者)
- ・足裏では認識できた(凸型スロープ千鳥配置(板橋型)×現場打ちエプロン 白杖利用者)
- ・前輪が凸部に当たると若干抵抗感はあるが問題なく走行できる(凸型スロープ整列配置(神奈川型)×エプロンなし 車いす利用者)
- ・ライン導水の溝も気にならず走行は問題ない(凸型スロープ千鳥配置(板橋型)×現場打ちエプロン 車いす利用者)

# 大阪府主催 重点整備地区バリアフリー推進連絡会議で 無人駅インターホン問題について講演しました

2月16日大阪府主催の「重点地区バリアフリー推進連絡会議」で、無人駅インターホン問題について堀が講演をさせていただきました。

これは、対大阪府のオールラウンド交渉で、毎年、「無人化を勝手に進めるのではなく、私たち障害者の意見を聴く場を作ってください」という障大連の訴えかけで実現し、昨年度から2回目です。

この会議は、福祉のまちづくり条例に基づいて、バリアフリーを推進するための会議で、大阪府関係課をはじめ、市町村、鉄道事業者、近畿運輸局が集まっていました。

当日は、とても熱心に聞いていただき、具体的な質問も鉄道事業者からありました。引き続き、具体的な課題について意見交換ができる場が設定されるように取り組み続ける必要があります。

(以下、講演の概要です)

## インターホン調査の利用で困難に感じること～視覚障害者・聴覚障害者の場合

講演では、障害者の自立と完全参加を目指す大阪連絡会議(障大連)が実施した調査の概要を報告しました。この調査は、2025年12月に大阪府福祉のまちづくり条例審議会の上田一裕委員、泉本徳秀委員、長宗政男委員、大阪聴力障害者協会にご協力いただき実施したものです。

**調査の概要 (視覚障害者)**

- 駅が無人かどうか状況がわかる手掛りがあるか？
- 一人でインターホンにたどり着けるか？
- インターホンのボタンはわかりやすいか？
- 係員の対応や誘導はどうだったか？

**調査の概要 (聴覚障害者)**

- モニターがついているインターホンを使ってみる。

**その他**

新しい設備を使ってみる  
 各社のインターホンを比較してみる (文字情報、音声案内)

**視覚障害者調査でわかったこと**

ほとんどの駅で、自力でインターホンにたどり着けなかった

誘導ブロックがインターホンに敷設されていない



券売機と改札口(写真の黄色の破線)には点字ブロックがありますが、インターホンには、ほとんどの駅で点字ブロックの誘導がなく、視覚障害者が自力でたどりつけませんでした。JRは改札機と一体型のインターホンであるために、比較的に分かりやすかったようですが、他の各社はインターホンの設置場所や形状がまちまちで分かりにくかったです。

**電鉄会社によって、駅によって、インターホンの設置場所や形状がまちまちである実態**



- インターホンの形状やインターホンの設置場所を統一してほしい  
 ⇒ 設置場所は、当事者意見を踏まえてほしい  
 車椅子など他の事情も考慮する必要あり
- インターホンへ点字誘導ブロックを敷設してほしい

鉄道各社での研修の実態によるのか、各社で駅員さんの対応に大きな差がありました。実際の事例を交え、誘導において留意いただきたいことも伝えました。

### 聴覚障害者調査でわかったこと

聴覚障害者にとって、音声対応のみでは利用できない。  
モニターがあると安心だが、設置が限られている。



- インターホンにモニターを付けてほしい
- モニターを活用して、ジャスチャーや筆談でコミュニケーションができるようにしてほしい



メトロ JR



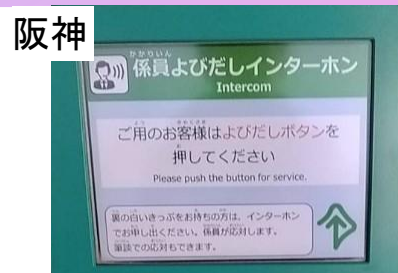
南海



京阪



「耳の不自由なお客さまは、呼び出しボタンを押してから「耳マーク」を押してください。」



「ご用の方はよびだしボタンを押してください」「筆談での対応もします」

事業者	OsakaMetro	JR西	近鉄	阪神	阪急	南海	京阪				
駅名	谷町9丁目	桃谷	大阪上本町	今川	桜川	福	吹田	中津	萩ノ茶屋	浅香山	京橋
(調査時) 有人・無人 (改札名)	無人 (東)	無人 (北口)	無人 (地下西)	有人	有人	無人 (西九条方面)	無人 (南)	有人	有人	無人	無人 (片町口)
音案内(※) 有無	あり	あり	あり	なし	なし	あり	あり	なし	なし	なし	なし
次回音案内迄の秒	15	60	60	/	/	30	30	/	/	/	/
その他1(モニター有無)	なし	なし	あり	あり	あり	あり	あり	使用不可表示	なし	なし	なし
その他2							筆談用筆記具 (常設)吹田駅	E V なし			

音声対応だけでは聴覚障害者は利用できません。モニターを設置して、筆談対応ができるようにしてほしいことを、とても良かった阪急電車の事例を紹介しながら理解を求めました。

各社のインターホンを比較すると、モニターを設置しているのは3社で、視覚障害者のための音声案内の分かりやすさも、各社で差がありました。

お願い〜新しく機器開発するときは、当事者の意見を聞いてください。

スマホでインターホン障害者にとっても自分のスマホで扱えるというのは画期的!! とてもいい!

でも、視覚障害者用にWEBで読み上げる文字に、呼び出しコールのリンクが張られていませんでした。残念!  
(画像にのみリンクがあるので、視覚障害者には使えない)



### 障害者を取り残さないでください

一緒に考えてください

- 多様な障害者が使えるインターホン・券売機
- 無人の時間帯の情報公開・周知
- ホームの車両と段差の解消

最後に、新たな機器開発の時には、障害者の意見を聞いてほしいということをお願いし、障害者を取り残した無人化の拡大をやめてほしい。インターホン、無人状況の情報公開、ホームの車両と段差の解消などに取り組んでほしいと訴えました。



じりつせいかつ  
自立生活センター・ナビ  
からのお知らせ

あおき りょう じりつせいかつ  
**青木 良さん 自立生活プログラム**

せんぱいしょうがいしゃたくほうもん  
～先輩障害者宅訪問～

みなさん、こんにちは自立生活センター・ナビの山下  
です。今回の青木良さんの自立生活プログラムでは、  
生活介護赤おにの山本敏晶さん宅に訪問させていた  
だきました。山本さんは赤おにの他にも複数の生活  
介護やプールに行き毎日を楽しみ過ごされている  
そうです。

やまもと としあき  
**山本 敏晶さん**



お気に入り  
大きなテレビです。



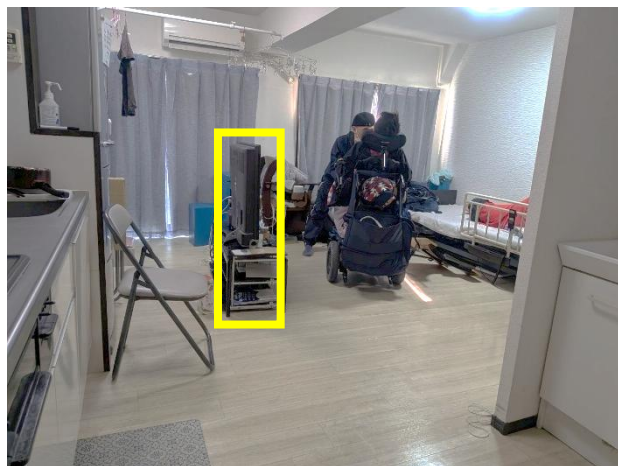
お昼ご飯を食べながら、いろいろお話をお聞き  
しました。



自立生活センター・おおさかひがし(大阪市  
城東区)の北岡さんが計画相談員として山本  
さんに関わってくれています。

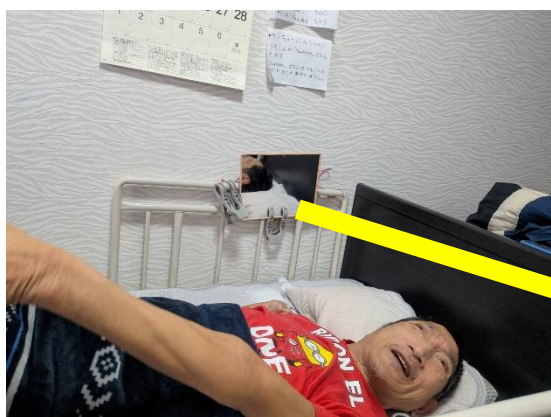
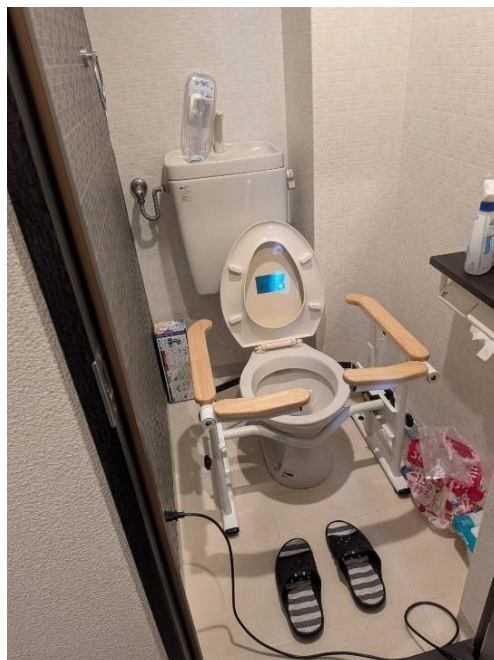
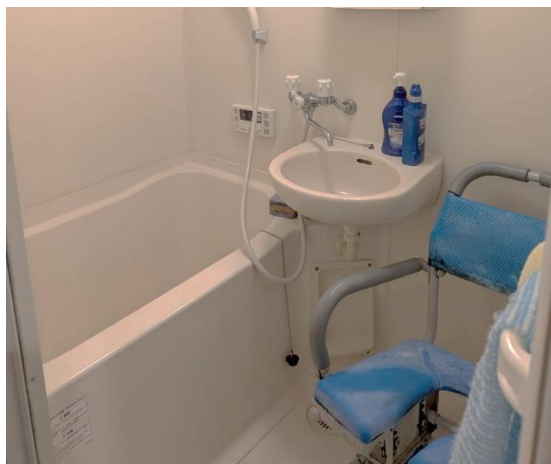
### 〇工夫しているところ ①

テレビ(右写真 黄色い枠)を境に左がヘルパーの待機スペース。右が山本さんのプライベートスペースと空間をわけていました。



### 〇工夫しているところ ②

お風呂やトイレが使いやすいようにシャワーチェアや手すりを設置。



### 〇工夫しているところ ③

ベッド上でテレビを観ることが多いが、同じ体勢ばかりだと、しんどいので左右どちらを向いてもテレビが見れるように鏡を設置しているそうです。

~~~~~

### 青木さんの感想

家賃のことや生活する時に工夫していること、ヘルパーさんとの関わり方など、たくさん知れたのが良かったです。次は筋ジストロフィーの障害者がどんな風に一人暮らししているのか見学したいです。

ピーシーピーふゆ ほうさいいっぽくほうこく あべ かた きかく  
**BCP冬の防災一泊報告 ~阿部さんと語ろう！企画~**

防災意識の向上を目指して、2月6日(金)16時から7日(土)の翌朝まで、おにわにてBCP冬の防災一泊を行いました。夏冬ごとに一泊を続けており、被災を想定して電気ガス水道が止まった設定で、防災食や防災備品を実際に使用、障害者、スタッフともに自宅以外で泊まる体験をする目的です。

今回は泊りでゆめ風基金の阿部俊介さん(後述)、H H古川さん&娘の礼歩(あきほ)さん、ちゅうぶ敬称略で中野ユ(HH永井~西山)、中村(HH濱口)、石田、西川J、高出、富田の防災担当、重原カ、山出、松田、食事まで参加で区社協から桑原さん櫻井さん、町会から播本さん、西尾エ、中彌、関野、秋山、トーク企画にプチ発表安東さんほか、多数の聴講の参加がありました(ありがとうございました)。

当日のスケジュールに沿って、写真と中村コメントで企画の内容を紹介していきます~

**企画①16:30~17:40 ゆめ風阿部さんトーク@1階** (↓中央小坪さんの右、マイクを持って話す阿部さん)



石巻の東日本大震災(3.11)で被災し、避難体験と合わせ自身の障害状況も交え、ゆめ風基金スタッフの阿部さんからお話ありました。被災後にちゅうぶ等大阪の団体と重ねた交流も写真を交え、7年前大阪へ引っ越しゆめ風で勤務し、家族との生活等も紹介されました。

(中村コメント) 阿部さん宅には各部屋に非常灯をつけていたり、家を改修して設置した大型発電機など、被災した体験があって防災対策が進んでいると思った！

**企画②18:00~21:00調理と食事** (↓焼いたきりたんぽも美味しいなあ)

(↓きりたんぽを練った中野ユさん)



(中村) きりたんぽのご飯を漬すのは、楽しかったけど、実際避難所で楽しく料理とか、出来るのかなって思った。水も大切ななあと思った。

(きりたんぽ→)

企画中の寒さ対策は、灯油ストーブと就寝前にはプロパンガスのヒーターを使用。灯りはランタンを13個ほど配置、阿部さん持参のランタンは天井から吊り下げられる優れ物。



企画③ 21:30～22:30 阿部さんとストーブを囲んで、皆の被災防災トーク会 ↓

トーク企画の後半は、参加した各々の被災・防災、または被災地支援の経験など話し合いました。石川県で3.11の揺れを感じたヘルパーさんや中越沖地震(2007)を体験した人、西尾エさんが前の企画で発表した「冷蔵庫壊れて食材どう消化するか」話等もありました。



(中村コメント) 阿部さんが被災して40日間お風呂に入れなかった話、大変と思った。自宅でヘルパーが居ないときに被災したら、僕自身がメチャパニックとなると思う。

企画④ 23:00～就寝 男性と阿部さん組は4階、女性は3階で就寝しました



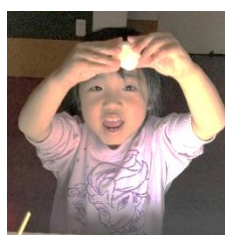
←床に長尺シート(10m程)を敷いた上にイグサマット(数人分)を重ねて、寝袋で休みました。スマホ等はバッテリー(大)から充電。夜中はストーブを消すので、明け方はやや冷えます。概ね睡眠できたようですが、夜間のトイレ、靴下では床が滑って阿部さんは移動と移乗がすごく困難でした。ヘルパーさんも予想外。

(中村コメント) 寝るときマット等あってよかったけど柔らかすぎで寝返りにくかった、でも無いとしんどい。手すり無かったらトイレとか行きにくいと思った。

企画⑤ 7:00起床、8:00～朝食、感想会

朝ごはんは防災食のリゾット(イタリアンや和風等3種の味)を、卵と固形スープも混ぜて鍋で温めました(右) →

(中村コメント) 防災食にリゾットがあるなんて知らなかった。今回は学生ヘルパーと参加できて良かった。阿部さんの「初めて行く場所は避難路や防災設備を確認」の話、大事と思った。



被災を通じて繋がった阿部さんの障害から被災、避難などの実体験を直に聞く交流ができ、また参加者各々に震災等にまつわる体験があることも共有できました。ちゅうぶでは繰り返し満遍なく障害者・スタッフに参加してもらい、日々の自分と仲間たちの防災を考える機会としています。ぜひ皆さんも我が身と仲間の命の備えをお願いします。

↑最年少参加(5歳)の阿部礼歩さん。親子でありありがとうございました! (文責:中村・富田)

# 「ハンセン病家族のいま 家族の思い、 家族への思いを語る」

2月21日(土)ハンセン病問題講演会に参加してきた。  
会場の阿倍野区民センターにはたくさんの人が集まっ  
て熱心に聞いていた。



私自身、ハンセン病を知ったのは中学生の頃だったよ  
うに思う。教科書に書いてあったことをなんとなく覚え  
ている程度だった。

きちんと学びなおしたのは今から6年前。縁あって岡山県瀬戸内市の島にあるハンセン病療養所「愛生園」に行った。

そこでは愛生園で生きてきた人々がどのように暮らしていたのか、資料や証言を読み解くとともに、残された遺構のそれぞれをじっくり眺め、かつての差別の悲惨さを実感したのだった。

## 家族の思い、家族への思いを聞く

愛生園では当事者の言葉を読む時間が多かったのもあり、ハンセン病回復者の方のご家族の生の声をお聞きするというのは今回が初めてだった。

※「ハンセン病回復者」…かつてハンセン病になり、治癒した人  
(療養所入所者、退所者、非入所者の総称として使っている言葉)

ハンセン病家族訴訟にて、原告番号190番として今も闘い続けている女性の言葉に息を飲んだ。

「母(ハンセン病回復者)はふるさとを失った。

お墓参りでたまたま祖母を見かけたので、

ためらいもあったが『お母さん!』と声をかけた。

しかし『私に娘はいない』と言われてしまった。』

190番さんはこの話を母から聞いたとき、「とても悲しかった。この国が家族をバラバラにし、ふるさとを奪った。」と感じたと話されていた。

悲しみや苦しみまで次の世代に連鎖してしまっていることを思い、メモを取ろうとした手が止まってしまっ  
てしばらく動けなかった。

「どうかしっかり自分を生きてください。すべて話すにはあまりにも時間が足りない。」という言葉が、会場  
にいた全員の心に響いたのではないかと。

ハンセン病回復者の持つ課題は船の錨のように重い。  
結婚した相手や相手家族には、家族の中に「ハンセン病(回復者)がいる」と言っていない・言えないとい  
うことが多い。

## 社会に植えつけられた偏見・差別と今も闘い続けている

シンポジストとして登壇した福山としおさん(仮名)も息子さんへは、妻や妻の家族に「父親がハンセン病  
だと言うな」と言っているそうだ。

「隠しているので、補償金の請求ができない」  
「こんな少額で今までのつらさは計れない。ばれるリスクと釣り合わない」  
「もう関わりたくない」  
「納骨堂にある遺骨をひきとりたい気持ちはあるが、家族に知られてしまう」

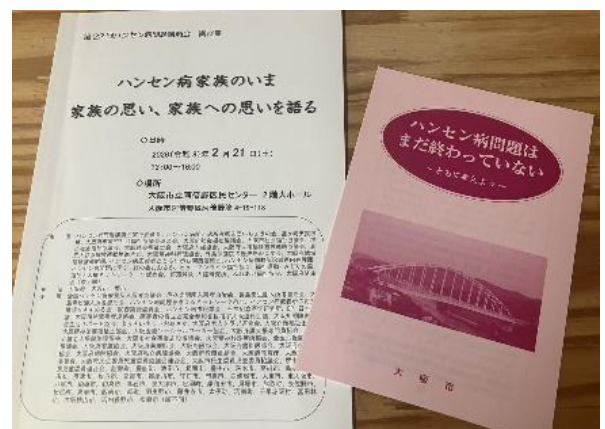
講演会でこういった家族の声を聞いた。

かつての私は愛生園の納骨堂に引き取りに来ない家族もいると知ったとき(高齢で引き取るのが難しい  
ケースもあるということは知っていたが)、やや家族を責めるような視点を持っていた。  
だが、このようにして家族も未だに差別によって社会全体に植えつけられたスティグマ(※編者注)から  
抜け出せずに苦しんでいることを知った。  
※特定な人や集団に対する根拠のない思い込みや烙印

## 声をあげられる社会を目指して…

ハンセン病回復者の家族は声を上げ続けている。  
けれど、名乗りを上げられないひとが大勢いる。  
まだ声を上げることができていないひとはどこにいて、  
どんな生活をして、家族とどんな会話をするのだろう。  
家族とは話せているのだろうか。  
どんな思いで今の社会を見ているのだろうか。

私は「おおさかきゅうせいほごほうを問うネットワーク」の  
一員として活動している。声を上げられる社会になる  
ために、私にできることを考える。人権を無視した国の過ちを後世に伝えていく責務がある。まずは  
自分の周りにいる人から、講演会で聞いたハンセン病回復者・家族の声を伝えていくつもりだ。  
まだ聞けない声を、私は聞きたいと切に願う。



(文責:松倉)

# がっこうこうりゅう イン おおさかしりつひらのきたちゅうがっこう 学校交流 in 大阪市立平野北中学校

## しょうがいしゃ ～障害者のことを知ってほしい～

### こうりゅう がいよう 交流の概要

2月10日、私たちは学校交流に行ってきました。今回の交流は2年生で、5時間目に学年全体への講演、6時間目に4クラスに分かれて発表という流れで行われました。

ぜんたいこうえん つうしよ しげはらかずき  
全体講演は通所スタッフの重原和樹さんが担当しました。各クラスでの発表は、高田・佐々木智阿姫、真野・秋山、松倉・舟橋・杉原・佐々木貴裕のメンバーとスタッフのペアで行いました。



ぜんねん ひらのきたちゅうがっこう がっこうこうりゅう せいと はんのう うす  
前年の平野北中学校の学校交流では、生徒の反応が薄かったと聞いていました。そして、今回の全体講演でもあまり反応が良くなかったので、自分の話は大丈夫だろうかと不安でした。

### じかんめ ぜんたいこうえん しょうがいしゃ けんり 5時間目:全体講演「障害者の権利」

ぜんたいこうえん テーマは障害者の権利でした。その中で、合理的配慮、医学モデルと社会モデル、ちゅうぶの理念である「200万回の選択」の話もありました。

こうえん なか ひと にちじょうせいかつ なか おお せんたく しょうがいしゃせつ ひと なか  
講演の中で、「人は日常生活の中で多くの選択をしている、しかし、障害者施設で暮らす人の中には、1日に2、3回しか自分で選択できない現実がある」、と話がされていました。この話を通して、「選ぶこと」が大切な権利であることを分かってもらえたら良いと思いました。

### じかんめ べつはつびよう 6時間目:クラス別発表

6時間目は、それぞれが違うテーマで発表し、私はインクルーシブ教育について話しました。教育を受ける権利、なぜ一緒に学ぶことが大切か、日本の障害児の現状、特別支援学校について、なぜ普通の学校に行けないのか、どうすれば通えるのか、障害者団体の取り組み、一人一人にできることを話しました。

### なぜ一緒に学ぶことが大切？

学校は、

➤ 将来の社会の練習の場。

だから、違いのある人と学ぶことが重要。

日本では多くの障害のある子どもが特別支援学校に通っています。この背景には、普通学校では支援体制や環境が十分に整っていない現状があります。

「だから普通学校は無理」という話ではなく、支援や合理的配慮、看護やサポート体制などを普通学校にも広げていくことで、通うことは可能だという考えを伝えました。

また、障害があるからできないと決めつけないでほしいこと、必要なサポートを「ずらい」と思わないでほしいこと、現状を知ることが社会を変える第一歩になること、社会の理解が広がることで学校も変わっていく可能性があることを伝えました。最後に、日常生活の中でできる配慮についても少し触れました。

説明が難しい部分は、佐々木貴裕さんが別の言い方で補足してくれたおかげで、生徒のみんなにも伝わりやすくなりました。実際に話してみると、しっかり聞いてくれて反応もよく、安心して進めることができました。

## 生徒からの質問

生徒からは、障害が進行していく中でつらかったことはなかったのか質問がありました。そのとき私は、とっさに「つらいことはなかった」と答えてしまいました。しかし本当は、高校の頃にみんなと同じ場所へ行けないことがつらかった経験がありました。また、車いすに乗るようになって細かい配慮やバリアフリーが十分でないことに気づくようになりました。そのことも伝えれば良かったと反省しました。

## 今回の交流を通して

これまでの学校交流では、自分の体験を中心に話すぎて内容がまとまりにくいことがありました。今回は、権利や社会の現状という視点を意識して構成したことで、より伝わる発表になったと感じています。今回の交流を通して、人に伝えることの難しさとおもしろさの両方を実感しました。この経験を、これからの活動にも活かしていきたいと思います。

(文責:赤おに 杉原)

## なぜ普通学校に行けないの？

普通の学校では

**特別支援学校と同じサポートが受けられないから。**

バリアフリー、専門の先生、看護師のサポート、身の回りのサポート、授業での配慮

## 社会が変われば学校もかわる

**社会でも障害者と健常者が分けられている**

例えば、バリアフリーになっていない店や施設が多かったり、要望を理解してもらえない。

**教育は国がやってるけど、**

**社会が変われば国も考え方変えるかも。**

# - 僕とモリシとヒロシと、僕の中の尾上浩二 -

ちゅうぶ生活介護(赤おにスタッフ): 重原和樹(カツキ)

## 第1章 兄とスタジアムと僕の英雄



ながいりくじょうきょうぎじょう  
長居陸上競技場

僕は1987年、大阪市に生まれた。母は訪問看護師で、脳性麻痺の人の家に介護に入っていた。僕も何度か付き添った記憶があり、「赤おに」にも、子どもの頃に来たことがあるらしい。「100円じゃんけん」で大勝ちさせてもらった記憶しかないけど、だから、あそこは「赤おに」で間違いないと思う。僕の二番目の兄は、セレッソ大阪の熱狂的なファンだった。

1990年代、兄に連れられてスタジアムへ行ったことがある。試合内容も詳しい場所も全く覚えていないが、セレッソの試合を、そのスタジアムで観ていたという感覚だけは、今もはっきり残っている。そして、サッカーを始めた。小学6年のとき、背番号を選べるようになり、迷わず8番を選んだ。理由はモリシこと森島寛晃選手。小さな身体の僕にとって、小さな身体で、日本代表として活躍するモリシは英雄だった。

## 第2章 知らないおっちゃん知らない姉ちゃん

1999年。中学1年。セレッソ対ペルージャ(イタリア)の親善試合。サッカー部の仲間たちと長居へ向かったが、なぜか僕たちはチケットを持っていなかった。スタジアム周辺で、知らないおっちゃんに、「ペルージャ応援席のチケットいらんか?」と声をかけられた僕たちは、セレッソグッズを身につけたまま、人生でおそらく唯一、敵側の席に座ることになった。試合が始まり、ペルージャの選手が良いプレーをするたび、周囲は立ち上がり、叫び、手を上げ、熱狂していた。そして、ペルージャが得点した。その瞬間、隣に知らない姉ちゃんが僕たちに抱きついてきた。柔らかい感触と熱と興奮。その記憶だけは今も消えない。他にも、知らないヤツらが、叫んで、抱き合っ、一緒に喜んでいた。そこには敵も味方も、日本人も外国人もなかった。あの場所には、排除も国籍も制度も存在しなかった。そして当時の僕は、スタジアムに排除なんてものが存在するなんて知る由もなかった。



セレッソの象徴  
もりしまひろあき  
森島寛晃(モリシ)

## 第3章 入れなかったスタジアム ①

2002年。日韓共催ワールドカップ。モリシは日本代表としてW杯に出場していた。そして長居スタジアムでも日本代表戦が開催された。W杯のチケットはとんでもない倍率と価格で、僕は手に入れることができなかった。それでも、現地でモリシを応援しないという選択肢はなく、気付けば自転車で長居へ向かっていた。スタジアムの外には、僕と同じようにチケットを手に入れられなかった人たちが溢れていた。



←レジェンド：ヒデ

ワールドカップ けきてき W杯で劇的なゴールを

誰が持ち込んだのかも分からない小さな衛星テレビを、知らない者同士が自然と集まり、固唾を飲んで同じ画面を見つめていた。そしてその瞬間が来た。セレッソの英雄、モリシが、自分のクラブのホームスタジアム長居で、ワールドカップのゴールを決めた。その瞬間、僕の記憶の中では、本当にそこにいた全員が、叫んで、抱き合っ、一緒に喜んだ。地鳴りのような歓声だった。僕はスタジアムには入れなかった。でも、あの場所には排除も差別もバリアも制度も存在しなかった。

### 第4章 2010 見えないゴールと入れないスタンド

2010年。セレッソ大阪の本拠地はキンチョウスタジアムへと移っていた。そこで、ちゅうぶ生活介護「青おに」の脳性麻痺の車椅子メンバー、森園宙（ヒロシ）はこの頃、既にとんでもないバリアと戦っていた。彼と僕は、同じチーム、同じスタジアムを愛していた。ただ一つ、決定的に違ったのは…彼が車椅子だった。サッカースタジアムは通常、東西南北4つのスタンドに分かれ、それぞれ独立した観戦空間として整備されている。



キンチョウスタジアムも同様だった。だが車椅子席は、西スタンドと南スタンド（アウェイ側）の一部にしか存在しなかった。僕はこれまで、セレッソサポーターは北スタンド、対戦相手は南スタンドで応援すると教わり、その場所でサッカーを見てきた。だがセレッソ側のスタンドには、そもそも車椅子席が存在しなかった。さらに、西スタンドの車椅子席の前には広告看板が設置され、ゴールがまともに見えなかった。スタジアムの中に入れておいて、そこには確実に排除があった。モリシのゴールのあの瞬間の、「知らないヤツらと叫んで抱き合い一緒に喜ぶ権利」が、侵害されていると、僕の中の尾上浩二は言っている。



ゴールが見えない キンチョウスタジアム



## 第5章 2018 キンチョウ改善の約束

2018年。キンチョウスタジアムの問題は、2010年から荷一つ解決されないまま続いていた。そこで、ちゅうぶは、大阪市およびセレッソ大阪に対し、正式に要望書を提出した。その後、セレッソ大阪は大阪市を通じ、文書による正式回答を行った。内容は極めて明確だった。

- ①「車椅子席を増設する・今後の改修でさらに増設予定」
- ②サイトライン(車椅子席からも試合・ゴールが見える視界)に配慮する
- ③車椅子対応トイレの増設を検討する
- ④キンチョウスタジアムは将来的に大規模改修を予定している

つまり…スタジアムは大改修され、環境は改善されることが公式に約束された。車椅子ユーザーにも、「知らないヤツと叫んで、抱き合っ、一緒に喜ぶ権利」が当たり前ものになるはずだった。

## 第6章 ちゅうぶと森園ヒロシとの出会い

2019年。僕は、NPO法人ちゅうぶに入職した。ここで僕は、森園宙(ヒロシ)と出会うことになる。そして同時に、キンチョウスタジアムの「現実」を知る。ここから、僕はヒロシと共に、再び長居へ通うようになった。子どもの頃、兄に連れられ通ったスタジアム。英雄モリシを追いかけた場所。知らない誰かと叫び、抱き合い、喜んだ場所に。ここから観戦者だった僕は、当事者になった。

## 第7章 2021 大改修 — キンチョウ裏切り 車椅子席 大後退



2021年。キンチョウスタジアムは、2年に及ぶ大規模改修を経て、バリアフリー法のもとヨドコウ桜スタジアムとして生まれ変わった。だが、車椅子席だけは何も変わっていなかった。いや、選択肢という意味では、むしろ悪化していた。車椅子席が設けられたのは、東スタンドの一部のみ。相変わらず隔離された位置にあり、看板による視界遮断も変わらず。さらに皮肉なことに、その東スタンドだけが、この大改修で唯一ほとんど手が加えられていなかった。一方、大きく改修された西スタンドには、車椅子駐車場、大型エレベーター、新設

バリアフリートイレが整備された。しかし、そこに車椅子席は存在しない。北スタンド、南スタンドにもバリアフリートイレは設置された。そこにも車椅子席は作られていない。つまり、新しく生まれ変わったヨドコウ桜スタジアムでは、車椅子ユーザーだけがバリアフリー法の恩恵を受けなかった。

## 当時のセレッソの回答書…

株式会社セレッソ大阪

### キンチョウスタジアムへのご要望に関するご回答

平素よりセレッソ大阪を応援頂き、またこの度は貴重なご意見を頂き誠にありがとうございます。先日頂きましたご要望につきまして、下記の通り回答させていただきます。

1. 車いす席の数について  
車椅子のエリアが、ホームのバック側とアウェー側の一部というは少なすぎます。キンチョウスタジアムができる前から車椅子のファンが多いたにも関わらず、席がこれだけだと一般のファンと比べて差が大きすぎると感じます。これは車椅子に乗っている人への差別にあたると考えられます。

【ご回答】  
以前はメイン側にてホーム側 5 席とビジター側 5 席の用意でした。この席数では足りないで現在のバックスタンド側へ移設し、ホーム側 15 席、ビジター側 5 席を増設させて頂きました。  
ご要望を踏まえ桜スタジアムプロジェクト(キンチョウスタジアム改修)では、車いす席数の増加を検討しており、現在、各関係行政窓口とも協議中です。我々も、皆様に臨場感あふれる観戦環境をご提供したく目下努力中ですので、新たな桜スタジアムの完成をもう暫くお待ち願います。

2. バックスタンド側の車いす席のサイトラインについて  
バックスタンド側の車椅子席の目の前に、看板や広告があります。そのため写真 1 のように、ピッチが見えづらく、場所によってはゴールエリアが見えなくなります。ゴールシーンを楽しみにして来ているのに、車いす席からは見えないという問題が起きています。これでは、サッカーの楽しみが減ってしまうので、悲しいです。看板や広告の配置をずらしてもつたり、サイトラインが確保されている車いす席を用意してもらおうなど、合理的配慮の提供を要望します。

【ご回答】  
LED 看板の高さの影響で観戦の際に見えづらくご迷惑をお掛けし大変申し訳ございません。現在、対応としては車椅子エリアに 10cm の席上げを設置し、高さを上げる対応をします。それでも見えずらい場合は車いすの下に敷くクッションを希望される方へは貸出しております。  
なお、桜スタジアムプロジェクト(キンチョウスタジアム改修)では、指前頂いております車いす席のサイトラインにつきましても、十分配慮し計画を進めております。

大改修を経ても、法律が存在しても、僕の人生では当たり前だった、「知らないヤツらと叫んで、抱き合い、一緒に喜ぶ権利」は、車椅子の人には存在しなかった。最初から排除されていた。大改修を経ても排除は続いていた。むしろ悪化していた。

## 第8章 桜交渉 — 権利と善意とスタートライン



2021年10月13日。ちゅうぶ・  
大阪市・セレッソ大阪との本格的な交渉があった。そこには、40年以上障害者運動を続けてきた石田義典、行政の内部で社会と向き合い続けてきた車椅子ユーザーの堀篤子、そして一番の当事者である森園宙（ヒロシ）と、ちゅうぶの仲間たちがいた。制度を知る者。構造を知る者。そして、排除されてきた現実を身体で知っている者たちだった。人と

して当たり前前の権利を求める声は、大阪市経済戦略局スポーツ課へ届いた。その結果、

- ・車椅子席へのかさ上げ台設置
- ・車椅子駐車場利用
- ・聴覚障害への合理的配慮導入
- ・東スタンド2階席利用
- ・他スタンドへの移動容認
- ・東スタンドトイレ増設等いくつかの改善が実現した。

あの時、僕は確かに「権利を勝ち取った」と思った。でも今は違う。あれは勝利ではなかった。車椅子席は今も隔離された場所にあり、同じスタジアムにしながら、同じ空間

を共有できていない。改善されたように見えて、スタートラインさえ引かれていない。僕は今、善意に絶望している。おそらく善意はあった。協力もあった。理解しようとする人もいた。

それでも、現実が変わらなかった。善意では、権利は生まれない。権利とは、本来は最初から存在するはずのものだ。与えられるものではないと、僕の中の尾上浩二は言っている。そして、僕にとってスタジアムでの、人として当たり前前の権利とは、あの瞬間に、知らないヤツらと叫び、抱き合い、喜ぶこと。それだけだ。僕たちが求めているのは、特別扱いではない。善意でもない。権利だ。そして今もなお、このスタジアムには、本当のスタートラインが引かれていない。

開放された2階席  
サイトラインだけは公平になった



## 第9章 繰り返される排除 — 入れなかったスタジアム ②

2023年。なぜか約2万人規模のヨドコウで日本代表戦が開催された。僕も現地で観戦していた。三笥薫選手や久保建英選手を間近で見た記憶は、今でも新しい。だが、その試合で僕が衝撃を受けたのは選手ではなかった。車椅子席だった。通常、セレッソの試合では約40席ある車椅子席が、その日はわずか

10席しか用意されていなかった。さらに、かつて交渉によって利用可能になった東スタンド2階席は、開放すらされていなかった。それでも「全席完売」とされていた。意味が分からない。僕がよく介護に入っていた車椅子ユーザーは、この日、スタジアムの外で応援していた。

「知らないヤツと叫び、抱き合い、一緒に喜ぶ権利」は、どんどん遠のいていた。あの頃とは決定的に違う。今回は、僕はスタジアムに入れている。仲間たちは入れなかった。健常者席20,000席に対して、車椅子席は10席。あまりにも違いすぎるだろう、社会。

### 第10章 2024 焼きそば事件 — 入れなかったスタジアム ③



2024年。ヨドコウ桜スタジアム。相変わらず、車椅子席は東スタンドにしか存在しない。ある日、ヨドコウ西スタンド限定で販売されている「焼きそば」があった。青おにの脳性麻痺：車椅子ユーザー、渡海さんは、それを買いに行こうとした。しかし、当然のように止められた。理由は単純だった。西スタンドのチケットを持っていながら、



肉盛り焼きそば交渉

ら。当たり前の話だ。西スタンドには車椅子席が存在しない。チケットを買うこと自体ができない。仮に西スタンドのチケットを購入しても、そこには観戦できる車椅子席がない。つまり、焼きそばを食べたければ、試合を諦めなければならない。渡海さんは試合を選び、焼きそばを諦めた。健常者は観戦しながら、焼きそばも食べれる。ヨドコウでは、食べたいものを食べるという、あまりにも、あたり前の権利すら存在していなかった。

### 第11章 「342」 — 超・障害者権利条約違反 — 入れなかったスタジアム ④

2026年2月7日。Jリーグ開幕戦、セレッソV S ガンバの大阪ダービー。会場は、約5万人収容のヤンマースタジアム長居だった。チケット発売日には販売サイトを確認した。発売開始から1時間20分後、健常者席はまだ結構残っていた。車椅子席は…既に残り1席だった。ちゅうぶの仲間は誰一人チケットを取れなかった。おかしい。ヤンマーには全スタンドに車椅子席があり、数も相当あったはずだ。

①から⑱の健常者席のうち、③と⑥が売り切れている



※チケット購入ページの図。車椅子席は⑱完売で⑱の残り1席のみ。この図でも排除されてるし…

## ヤンマースタジアム自体のサイトの図



A～Jまで外周全部車椅子席あります

それでもこの時は、「大阪ダービーだから仕方ない」と自分を納得させた。どのスタジアムでも車椅子席は足りない。そう思うことにした。しかし試合前日まで、セレッソから届く販売促進メール。優待、タイムセール、半額案内。どれだけ席が余っているのか。健全者席を車椅子席に変えればいい。本気でそう思った。そして試合当日。現地にいたヒロシから、ヘルパー経由で信じられない情報が届く。「車椅子の人、30人くらいしかおらん」そんなはずがない。ヨドコウですら約40席ある。ヤンマーは全スタンドに車椅子席があるはずだ。試合後、僕はセレッソ大阪へ電話した。「車椅子席は何席販売したのか？」答える義務はない、と教えてもらえなかった。健全者席の数は毎試合公表される。だが車椅子席の数は、いつも分からない。僕はヤンマースタジアムにも電話した。知らなければならなかった。本当の車椅子席数を。もしかすると、僕の勘違いでヤンマーにも車椅子席はそもそも少ないのかもしれない…その方がまだ納得できた。しかし、そこで知らされた数字は、342席。ヤンマースタジアムには、実に342席の車椅子席が存在していた。何度も確認した。間違いではなかった。にもかかわらず、この試合で使われていたのは、わずか数十席。約300席が、存在しているのに使われていなかった。理解できなかった。代表戦も含めて。存在しているのに、つかわれぬ席。明確な排除だった。スタジアムでの当たり前前の権利、知らないヤツと叫び、抱き合い、一緒に喜ぶ権利。その侵害は、形を変えながら、確実に進行していた。これが、2026年の僕のJリーグ開幕戦だった。

## 最終章 僕の中の尾上浩二

僕にとって最初の英雄は、モリシだった。小さな身体で大きな世界と戦う姿は、同じく身体の小さかった僕に、確かな勇気を与えてくれた。そして今、僕にはもう一人の英雄がいる。尾上浩二。彼が戦っている場所はスタジアムではない。社会そのものだ。見えない段差。見えない差別。見えない排除。終わりの見えない戦いの中で、多くの人が彼を支え、時に利用し、それでも共に前へ進んできた。モリシがピッチで戦ったように、尾上浩二は社会で戦っている。人生の中で出したパス、受けたパス、放ったシュートの数は、もしかするとモリシ以上かもしれない。そしてきっと、僕もそのロングパスを受け取った一人なのだと思う。そう感じた瞬間、もう戦いの外側にはいられなくなった。これは僕の物語であり、長居の物語であり、僕が生まれる前から続く社会の物語だ。そして、僕の中の尾上浩二の物語でもある。スタジアムで、知らない誰かと叫び、抱き合い、喜ぶ。そんな「人として当たり前前の権利」が、すべての障害者にとって当たり前前になるのは、2,000年後、若しくは20,000年後かもしれない。それでも、尾上浩二から受け取ったこのパスだけは、僕も必ず次の誰かへつなぐ。人生で何度もパスミスしてきた。仲間にも、家族にも、自分にも、失敗していいと言い続けてきた。けど、このパスミスだけは許されない。

# きどみちお へや 木戸通雄の部屋



木戸通雄の部屋

「遅れ馳せながら(午年なので) 通所、初詣の大阪天満宮と今宮戎」



(左) 去年11月8日ですが、童夢関西フェス @にて、大阪プロレスのタイガースマスクと、えべっさんとの3ショット。木戸がソフトバンクのユニフォームを着ているだけに、去年の阪神タイガースとの日本シリーズを思い出させる!(^^)!

1月5日(月)ほとんどの人が仕事始め、そして木戸と作業所メンバー、職員の出社始

め。大阪天満宮でも今宮戎でも、ちゅうぶ猛虎会メンバーとして「阪神タイガース必勝祈願!!」毎日寒い日が続きます。「カゼをひいてるピッチャーいないかな?」(※故西本監督がCMで使っていたフレーズ知っていますか?)木戸は1月9日の夜9時ごろから体調を崩し咳、痰、鼻水が激しく、食欲もなく、10日(土)の朝9時からスグ近くの病院へ通院、3連休前でよかった。グツタリ...



←1月9日(金)今宮戎にて

井上さん、佐々木タカヒロさん、著者木戸、重原朋美さん、秋山さん、岩見さん。←左写真下左から中村君、真野君、岡嶋さん、西川和男さん、渡海君。ハッピーな1日でした。

(写真左下) 去年12月30日(火)近鉄百貨店の門松の前で去年の王者ソフトバンクの帽子とユニフォームを着てガッツポーズをする木戸。(写真下中) 同日、天王寺アポロビルの上で焼肉食べ放題にて、がむしゃらに食う木戸。ナントこの日は焼肉とご飯3杯をおかわりした。(写真下右) 年明けて事始めに1月5日(火)、大阪天満宮で阪神タイガース日本一祈願をアピールする木戸。2026年、虎も鷹も、どちらも頑張れえっ!!

ツポーズをする木戸。(写真下中) 同日、天王寺アポロビルの上で焼肉食べ放題にて、がむしゃらに食う木戸。ナントこの日は焼肉とご飯3杯をおかわりした。(写真下右) 年明けて事始めに1月5日(火)、大阪天満宮で阪神タイガース日本一祈願をアピールする木戸。2026年、虎も鷹も、どちらも頑張れえっ!!



令和7年、ちゅうぶ忘年会での木戸の出しものです（下の写真）今まで出し物をした5回のうち3回、白のスタンドマイクを回転させました。矢沢永吉さんがサプライズで出場した紅白はアツいモノでした。木戸は忘年会で『ウイスキー・コーク』と『アリよさらば』を熱唱し、永ちゃんならぬ「通ちゃん」もアツいステージでした。桜咲く3月、木戸の63回目の誕生日を迎えます。元気で何もなければ今年も奈良公園の桜を作業所のみなどと見に行きたいです。もし行けるなら、通所27年にして5回目の奈良公園での花見になります。



2月13日(金)立石さんと朝10時に出発、南港オートメッセ(モーターショー)に出かける。11時から17時まで。館内はかなり暖房が効いていて暑かった。入場料は障害者割引で2500円、介護者無料。青春PLAY BACK。木戸は今から41年前、第36普通科連隊にいた。隊では隔離社会で自由に外出もできず、四六時中窮屈な生活だった。当時は女性自衛官と話す事さえも規則で禁止されていた。こんな曲を思い出す。長瀬剛さん『GOOD-BYE青春』『グッバイ青春いい事なんかなかった季節に〜♪』今でもこの頃の話がフラッシュバックする。



← 令和8年現在、木戸はモデルの自由撮影会の会場にいた。(この人は芸人前で普段はグラビアアイドルをやっているらしい。)みんなカメラを抱えて黒山の人だかりだった。63歳からの青春！ ちなみに木戸は芥藤由貴さんの犬ファンです。(文責:木戸)

# 正職員・ヘルパー スタッフ募集中！

「200万回の選択。」を実現するために

人は、1日におよそ70回の選択と決定を繰り返していると言われています。  
朝起きる時間、出掛ける場所、どんな服を着て、何を食べて、何をして誰と過ごすのか。  
83年という平均寿命では、一生涯でおよそ200万回。

でも、これは健常者だった場合の数字。障害者の場合はどうだろう？  
わたしたちは、生活の中で様々なことに制限がかけられる障害者でも、  
「200万回の選択。」を実現できる社会づくりを目指しています。

“障害があっても、人の力を借りて自己選択・自己決定すること”  
わたしたちの考える大きな「自立」のかたちを確かに実現していくために。

ぜひいっしょに、働いてみませんか？お待ちしております！



(事業内容&スタッフインタビュー) (応募フォーム(正職員))



ヘルパー応募についても

お気軽にお問合せください！

★1,250 円/h~

★10,000 円/泊(23:00-翌 7:00)

(講座修了後の額。2026.4月よりペースアップ予定)

〔NPO 法人ちゅうぶ〕 Tel:06-4703-3740



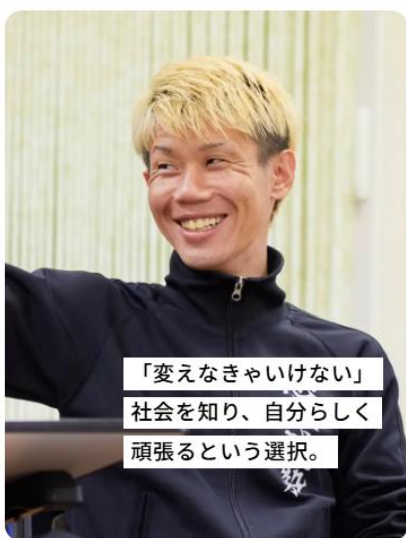
# ?ちゅうぶで働かって、どんな感じ?



「200万回の選択。」を実現するちゅうぶで働く人もまた、様々な人生の選択を繰り返しています。

どんな想いをもって日々働いているのか?

ちゅうぶとの出会いや一日の流れを、各部門で活躍するスタッフにインタビュー!  
左ページのQRコードからぜひご覧ください!



「変えなきゃいけない」  
社会を知り、自分らしく  
頑張るという選択。

重原 和樹さんの働き方

2019年入社



「やりたい」気持ちが  
大事にされる環境で、尊敬できる  
人たちと働き続ける選択。

西 由姫さんの働き方

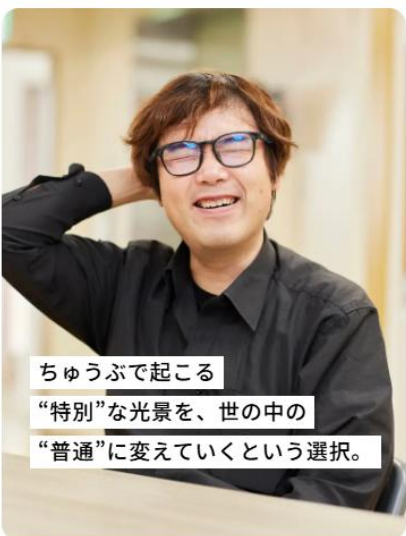
2014年入社



ライフステージの  
変化を法人と共に。  
仕事も家族も大事にする選択。

畑村 一輝さんの働き方

2015年入社



ちゅうぶで起こる  
“特別”な光景を、世の中の  
“普通”に変えていくという選択。

小八重 央さんの働き方

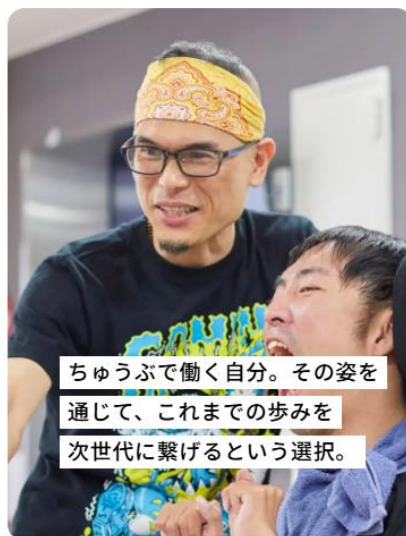
2012年入社



障害者も、自分自身も。  
人との関わりを通じて、  
生き方に広がりをもつ選択。

齊城 桃果さんの働き方

2021年入社



ちゅうぶで働く自分。その姿を  
通じて、これまでの歩みを  
次世代に繋げるという選択。

富田 譲治さんの働き方

1999年入社

1月  
中旬 刊行  
予定



いっちゃんは松葉づえで歩く男の子。  
こけて、痛いこともある。  
でも、友だちは、いっちゃんの痛みに寄り添う。  
ぶつかっても、みんなで工夫して乗り越える。  
「ちがうことこそ、ええこつちゃ」と言い  
続けた、いっちゃんからのメッセージ。  
インクルーシブ教育の本質を描く絵本。



### 監修者プロフィール

牧ローニ (1937-2024)

大阪府出身のグラフィックデザイナー。ポリオにより足に麻痺が残る。日本初の地下鉄エレベーターの実現に寄与、NPO 法人「ゆめ風基金」事務局長・障害者欠格条項をなくす会共同代表を長年務めた。「朝日社会福祉賞」受賞。NHK 教育テレビ「きらっといきる」で司会を担当、著書多数。

ISBN978-4-7803-1414-4 C8737 オールカラー・総ルビ  
B5 判変型上製 / 44 頁 (予定) / 定価 2000 円 + 税

### 本書のポイント

- 関西弁でクスッと楽しい!
- インクルージョンを  
考えるきっかけに!
- 小中学校の教材に最適!

監修 牧ローニ  
絵 しまえつこ  
文 三島亜紀子

株式会社 **かもがわ出版** 〒602-8119 京都市上京区堀川出水西入  
TEL:075-432-2868 FAX:075-432-2869  
<https://www.kamogawa.co.jp/>

発注・出荷に関するお問い合わせは 〒601-8122 京都市南区上鳥羽北塔ノ本町 18  
かもがわ出版流通センター ☎ TEL:075-672-0034 FAX:075-672-0035

|     |              |           |                                                                                                                                                                                                                                                                                          |  |
|-----|--------------|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 注文書 | 番線印          | 条件 ■ 新刊委託 | <b>かもがわ出版 注文 FAX:075-672-0035</b>                                                                                                                                                                                                                                                        |  |
|     | ご担当: _____ 様 |           | <p style="text-align: center;"><b>いっちゃんはよくこける</b></p> <p style="text-align: center;">監修・牧ローニ 絵・しまえつこ 文・三島亜紀子</p> <p style="text-align: center;">刊行予定日: 2025 年 1 月中旬 申し込み締め切り: 11 月 26 日 (水)</p> <p style="text-align: center;">ISBN978-4-7803-1414-4 C8737 定価 2200 円 (本体 2000 円 + 税)</p> |  |

【Book インタラクティブ】 【BOOKCELLAR】 での受注にも対応しています

きょうりよくかいひ

きょうりよくしゃめいぼ

# 協力会費・カンパ協力者名簿

|                       |              |
|-----------------------|--------------|
| うえおか かずひと<br>上岡 一仁 さん | みなとく<br>(港区) |
|-----------------------|--------------|

がつ にちげんざい  
3月4日現在

きょうりよく たんとう あんどう  
ご協力ありがとうございました(担当:安東)

## 「ひなアラシ」

ひなあられに何か混じって  
るんですけど…

若い子は、ドラゴンボールは知ってても、  
アラシちゃんは知らないんじゃない…



## メダルラッシュ

赤おにくん:「金5, 銀7, 銅12の最多だね」

青おにくん:「でも嬉しい思いをした選手より、

悔しい思いをした選手の方が圧倒的に多いよね。

自分の実力が出せなかった時が、一番悔しいでよね」

赤おにくん:「アスリートだけでなく、皆、あるよね。

その悔しさを未来に活かしていこうよ」

## ひなまつり

青おにくん:「ひな人形って、お母さんから娘に譲ったり、  
お姉ちゃんから妹に譲ったりしたらダメなんだって」

赤おにくん:「えっ、マジで!?。エコじゃないね、

人形屋が儲ける為の陰謀か」

青おにくん:「違うと思うよ。お金をかけなくても、小さな人形でも、  
女の子の幸せを願うことができるよ」

二人:「では、ハッピー、ピーチフェスティバル!!」



## 2026年4月～5月 スケジュール

|       |   |                                                    |                |
|-------|---|----------------------------------------------------|----------------|
| 3月27日 | 釜 | シーアイエル C I L おおさかひがし企画「障がい者がはたらくということ (姜博久&北岡さん)」  | 13時半～@城東区民センター |
| 3月28日 | 土 | 第2回ごちゃませOSAKA インすみのえ11時～17時 @すみのえ舞昆ホール             | b y 自立生活夢宙センター |
| 4月15日 | 水 | ～17日(金) バリアフリー展 10時～16時半 @インテックス大阪 (ニュートラム、中ふ頭駅下車) |                |
| 4月18日 | 土 | シーアイエル C I L おおさかひがし企画「障がい者がはたらくということ2 (棚本美樹さん)」   | 13時半～@東成区社協    |
| 5月9日  | 土 | 障大連年次総会13時～(予定) @大阪府情報コミュニケーションセンター4階 (学習会はありません)  |                |

●毎日のニュースを見るのが辛い。アメリカのイラン攻撃は明らかに一方的な戦争だし、国際法違反。そもそも国際法も国連もアメリカ憲法も議会も「そんな関係ない」トランプ。止まらない、止められない。自分に反対する人へは「IQが低い、精神病だ…」と平気で罵倒する。根拠や事実確認なしに人や他国を批判するのはお得意だが、もううんざり。しかし、ホントに第3次世界大戦に近づくのか…。ちゅうぶではいろいろありますが、グループホームにも新しい入居者も増え、みんな地道に頑張っています。もうすぐ韓国光州市のC I L ナヌムも来訪。韓国は日本の運動もお手本にしながら、でもバリバリ元気に介護、権利擁護、バリアフリー、脱施設の運動を進めています。なんとなくよほど日本、世界の中、前進したい。個人的には久々にフルマラソンで京都を走りました。膝はなんとか大丈夫でしたが、帰りは階段、特に下りがしんどかった。次はさわやかに走りたい！（いしだ）

●どうも、山本です。お待たせしました。いや待たせ過ぎたのかもしれませんが、今回3回目になります。毎回意味がなく、くだらない話になるように頑張っております。と言うわけで、最近SNSで自身の過去の投稿を振り返る通知が来るのですが振り返りの通知を見たところ、12年前の投稿が表示されており、長いことやっていた事を辞めて実家に戻り毎日楽しんでいた時の投稿でした。内容は、朝起きて散歩して運動に行き、昼過ぎから家の前の河で釣りをする生活を半年程続けていた時のもので、懐かしい感じがする一方で、その頃に今の仕事をするとは想像も出来なかったです。そこで思ったのは、人生はどうかかなと言うこと(普通に生活出来ているので)、何かになりたいと努力をしてなれるという保証はないが、なろうとした努力や経験は自分の物になるので無駄ではないということでした。すみません(T-T)こんな話をするために書いているのではなく、皆様にお伝えしたいことは、(3月中旬現在)暖かくなったり寒くなったりしますが、体調に気をつけてお過ごしくださいm(\_)m。ではでは、ナイスです。(やまもと)

●今回は名古屋の話、J R 名古屋駅の地下にある名鉄の名古屋駅、ここは色々ゴチャゴチャしていて何度来ても面白い。名鉄は名古屋を中心に放射線状に路線が伸びていて、たくさんの路線や先行の電車がやって来るが、ホームは上下線各1本ずつしかないのので、平日の昼間でも2～3分おきにやって来る。次の電車、その次の電車で行先や方向が違うことはあたりまえ、乗り間違えると大変、間違えないように方向別に乗車位置をずらして停車するが、ホームの前の方とか後ろの方に停まったりする。それに一番長いのは8両、短いのは2両でやって来る。こんな感じなのでホームドアとかも無理そう。駅の放送もひっきりなしに電車が来るので自動放送が難しらしく各ホームにある放送室から駅員がずっと喋り続けている。あとホームには近鉄のとりのりかえ改札口があり、お互い電車が見え関西と名古屋の国境のような感じがする。階段を上ると改札があって、入口と出口は一応分かれているが、コンコース内に数段の階段があったり改札口もゴチャゴチャしている。この名鉄の名古屋駅も地上の百貨店とかと一緒に再開発の計画があり駅も移転して拡張する計画がある。新しい名鉄の名古屋駅を見てみたい気がするが、いまのゴチャゴチャ感や面白さがなくなってしまうのはちょっと寂しい気がするが……。 (あきやま)

【東住吉区障がい者基幹相談支援センター】  
 【自立生活センター・ナビ】  
 〒546-0042 東住吉区 西今川 2-3-8  
 でんわ = 06 (6760) 2671  
 ファックス = 06 (6760) 2672



【障害者活動センター 赤おに】  
 〒546-0031 東住吉区 田辺 5-6-10  
 でんわ = 06 (6623) 7300  
 ファックス = 06 (6657) 5010

【グループホーム・リオ】  
 〒546-0032 東住吉区 東田辺  
 2-21-21  
 でんわ&ファックス  
 = 06 (6608) 5244

【ヘルプセンター・すてっぷ】  
 NPO法人ちゅうぶ 2階  
 でんわ = 06 (4703) 3741  
 ファックス = 06 (6628) 0271

【障害者活動センター 青おに】  
 NPO法人ちゅうぶ 1階  
 でんわ = 06 (4703) 3742  
 ファックス = 06 (4703) 3743

編集：特定非営利活動法人  
 エヌピーオーちゅうぶ  
**【NPO法人 ちゅうぶ】**



〒546-0031  
 おおさかしひがしすみよしきたなべ  
 大阪市東住吉区田辺5-5-20  
 でんわ=06 (4703) 3740  
 F A X = 06 (6628) 0271

ホームページ=https://npochubu.com/  
 メールアドレス=chubu@npochubu.com  
 ゆうびんふりこみこうぞう  
 郵便振込口座：00960-6-313427  
 つうしん ていぎこうどうりゆう  
 通信 定期購読料 = 1年間2,000円